事業番号 2022 - 公取 - 21 - 0008

						<u>業</u> 番		2022	- 公取	-		8
				令和4年度行	丁政事	業レ	<u> Ľ ユ ·</u>	<u>ーシート</u>	(公正取	引委員会)
事業名 外部専門家や外部機関を活用			目を活用した	引したデジタル分野の情報収集 		担当音	吊庁	経済取引局	j		作成責任者	
事業開始年度	令	和2年度	事業終 (予定)		なし	担当	課室	デジタル市場企画調査室			稲葉 僚太	
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	_					関係計画、		-				
主要政策・施策	ı					主要	経費	その他の事	項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)												
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	外部の専門家として、例えば、工学系の学識経験者、デジタル分野の実務に詳しい者などを積極的に活用し、デジタル市場における競争政策上の論点整理や課題の検討、デジタル市場に関する国内外の情報収集を幅広く行う。 また、外部の機関として、例えば、民間の経済研究所などの協力を得て、デジタル市場に関する特定の情報の収集を行い、デジタル市場における競争政策に関する検討に活用する。											
実施方法	直接到	毮施、委託∙請 負									_	
				令和元年度	令	和2年度		令和3年度	Ę	令和4年度	令和]5年度要求
		当初予算	-	-		26		11.9		2.8		21.4
		補正予算		-		-		▲2.2		-		
	予算の状	前年度から終		-		-		-		-	-	
予算額・	況	翌年度へ繰		-		_		-		_		
執行額 (単位:百万円)		予備費等	Ŧ	-		_	_		-			
		計		0		26		9.7		2.8		21.4
	執行額			0		10.5		7.6				
	執行率(%)			-		40%		78%			<u> </u>	
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合(%)			-		40%		78%				
	歳出予算目 諸謝金 委員等旅費			令和4年度当初予算 令		令和5年度要求				主な増減理	曲	
				2.3		1.4 0.3		所規要求による	もの。			
令和4·5年度 予算内訳				0.5								
(単位:百万円)	経済実態等調査費		·費	0		19.7						
	計			2.8		21.4						
活動内容 (アクティビ ティ)		の専門家として		、工学系の学識経験 デジタル市場に関す		ジタル分			よどを積極的	に活用し、デ	ジタル市場に	おける競争政策
活動目標及び		活動目標		活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
活動実績 (アウトプット)		ル分野における	る専門	「識者との意見交換 <u>」</u>		舌動実績	回	-	75	63	-	-
,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	的知見	見の向上		・吸っこの心光又揆[4初見込み	□	-	42	42	42	42
活動目標及び		活動目標		活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
活動実績 (アウトプット)		ル分野における 見の向上		可識者による海外での 地調査回数	⁷	舌動実績 4初見込み		-	3	0	-	
			算出根		3	- 100 FL 100 P	単位	令和元年度	-			: 汗
			异山似	CIXE	<u> </u>	単位当たり	単1型 円/1回			令和3年度 34.878	4年度	活動見込
単位当たり コスト	執行額/有識者との			- の意見交換回数		計算式	円/旧	-	55,525 4,164,350/75	2,197,300/63		-
			算出根	拠		$\overline{}$	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	活動見込
無子がそこ			., ,		<u></u>	単位当たりコスト	回/1回		-	-		_
単位当たり コスト	執行額/有識者による海外での実地調査回数				· 文 言	計算式	円/回	-	0/0	0/0		-

		 定量的な成果目標	成果指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度		
J.	成果目標及び	ZEE SOME DE	770510714 137	4804	-	_	_	17 1R 7 1 2	- 年度	- 年度		
	成果実績 (アウトカム)			成果実績				-		-		
	(, ,,,,,,,,	_	-	目標値	-	-	-	_	-	-		
畑	拠として用いた			達成度	%	-	-	-	_	-		
	統計・データ名 (出典)	_										
		定量的な目標	票が設定できない理由		5	定性的な成果	目標と令和え	元年~令和33	年度の達成物	犬況∙実績		
	定量的な目標 が設定できな い理由及び定 性的な成果目 標	デジタル市場における競争 量的な目標を設定することに	÷政策が推進された程度につ は困難であるため。	いて、定	変化が激しく、かつ、高い専門性が求められるデジタル市場において、競班策を有効かつ適切に推進を図るために、外部の専門家を積極的に活用して、デジタル市場における競争政策の検討・情報収集を行う。 達成状況・実績について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、有識者による海外での実地調査は実施できなかったものの、当委員会の職員が国内で様々な有識者と意見交換することを通じて、デジタル分野の情報収集を効率的かつ効果的に実施した。 また、令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、有識者による海外での実地調査は実施できなかったものの、当委員会の職員が国内で様々な有識者と意見交換することを通じて、デジタル分野の情報収集を効率的かつ効果的に実施した。							
傑の設定が	事業の妥当性	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4 年度	目標最終年度		
が困	を検証するた めの代替的な	変化が激しく、かつ、高い 専門性が求められるデジタ ル市場に関する情報収集	有識者との意見交換回数	実績		-	75	63	ı	1		
困難な	達成目標及び 実績			目標値	回	-	42	42	42	-		
な場合		を積極的に行う。		達成度	%	-	188	150	-	-		
	事業の妥当性	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度		
	を検証するた めの代替的な	変化が激しく、かつ、高い 専門性が求められるデジタ ル市場に関する情報収集		実績	回	-	0	0	-	-		
	達成目標及び 実績		有識者による海外での実 地調査回数	目標値	回	-	3	1	-	-		
	~ **	を積極的に行う。		達成度	%	-	0	0	-	-		
	活動内容 (アクティビ ティ)	外部の機関として、例えば、民間の経済研究所などの協力を得て、デジタル市場に関する特定の情報の収集を行い、デジタル市場における競 争政策に関する検討に活用する。										
ž	舌動目標及び	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
(活動実績 アウトプット)	デジタル分野における専門		活動実績	件	-	2	2	-	-		
	., , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	的知見の向上	集の実施件数	当初見込み	件	-	1	1	_	-		
		算出	根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	E活動見込		
	単位当たり			単位当たりコスト	円/1件	-	3,170,795	2,680,044		-		
	コスト	執行額/外部の機関に	計算式	円/件	_	6,341,590/2	5,360,087/2		-			
		定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度		
	成果目標及び 成果実績			成果実績	-	-	-	-	-	-		
	(アウトカム)	_	-	目標値	-	-	1	-	1	1		
				達成度	%	-	-	-	-	-		
	拠として用いた 統計・データ名 (出典)											

	定量的な目標が設定できない理由						定性的な成果目標と令和元年~令和3年度の達成状況・実績						
的なし	≧量的な が設定で い理由及成 性的な概 標	できな とび定	デジタル市場における競争量的な目標を設定することに		[につ	いて、定	政策を タル市 達成 ポートの 実施し 令和3	変化が激しく、かつ、高い専門性が求められるデジタル市場において、競争政策を有効かつ適切に推進を図るために、外部の機関の協力を得て、デジタル市場に関する情報収集を行う。 達成状況・実績について、令和2年度は外部機関が販売している書籍・レポートの購入などを通じて、デジタル分野の情報収集を効率的かつ効果的に実施した。 令和3年度についても、外部機関が販売している書籍・レポートの購入などを通じて、デジタル分野の情報収集を効率的かつ効果的に実施した。					
を	業の妥	5 7K ₩-	代替目標	代替指標	替指標		単位	令和:	元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
難かる	検証するの代替	るた		実績			件		_	2	2	- 千皮	
瑜 合	成日標 成日標 実績	及び	外部の機関の協力を得て、デジタル市場に関する	外部の機関による情報収 集の実施件数 達成度		目標値	件		-	1	1	-	-
	大幅		情報収集を行う。			%		-	200	200	-	-	
政策評価、	政策評	政策	競争政策の普及啓発等(3		養評価書	https://	/www.ifi	c.go.ip	/soshiki/kvo	tsukoukai/se	eisaku/index.l	html
をの関系経済	価	施策	デジタル市場における競争 	環境の整備 3-6 <u></u> ■		URL 当箇所	-		0 31			·	
の関係			分野: -										
··· 財政 再生	2 幽海	取組 事項	│ (新経済・財政再生計画改革 URL:	革工程表 2021)_									
計画	工型		該当箇所	-									
				事業別	f 管 音	部局によ	る点検・	改善					
			項	i 🗏				評価			評価に関	 する説明	
国费	事業の	の目的	は国民や社会のニーズを的		国民や社会にとって重要な存在となっているデジタル市場については、これまで政府全体で、競争政策、情報政策、消費者政策など、様々な政策的観点から取組が進められているところ、公正取引委員会として、デジタル市場における競争政策を有効かつ適切に推進することは、国民や社会のニーズを的確に反映していると考える。				き、情報政策、消 が進められてい ī場における競争				
投入の必要	地方自	自治体	、民間等に委ねることができ		0	デジタル市場に関する情報収集については、実際に競争 政策を実施する公正取引委員会が、外部の専門家から専門 的な知見の提供を受け、また、外部の機関の協力を得つつ、 進めていくことが効果的と考える。							
性	政策目事業が		達成手段として必要かつ適な	刃な事業か。政策体系 <i>の</i>)中で	⁵優先度 <i>σ.</i>)高い	0	変化が激しく、かつ、高い専門性が求められるデジタル市場において、競争政策を有効かつ適切に推進を図っていくためには、外部の専門家や外部の機関の協力を得て、デジタル市場に関する情報収集を進めていくことが必要かつ適切であり、優先度が高い事業と考える。				
	競争性	生が確	保されているなど支出先の選	選定は妥当か 。				0			よ外部専門家 定を行ってい		、の活動実績など
			竞争契約、指名競争契約又は 礼又は一者応募となったもの		こよる	5支出のう	ち、一	無	物品 相見和	や役務の調 責りを原則と	達に対するま	支出先の選定	!に当たっては、 確保とコストの削
		競争性	生のない随意契約となったもの	のはないか。				有	書籍社しか	減を図っている。 書籍・レポートの購入や文書の郵送では、販売・提供元が1 社しか存在しないため、競争性のない随意契約(特命随意契 約)となったものがあった。			
	受益者	きとの1	負担関係は妥当であるか。					-	-				
事業の効	単位当	位当たりコスト等の水準は妥当か。							諸謝金は、規則・統一単価に基づいて支出している。 また、経済実態等調査費の費目・使途は、書籍・レポートの 購入などであり、デジタル市場における競争政策の有効かつ 適切な推進のために真に必要なものに限定されている。				書籍・レポートの ・政策の有効かつ
率性	資金の	 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。							-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						0	ポート	の購入等で	あり、デジタノ	レ市場におけ	ムや、書籍・レ る競争政策の有 に限定してい	
	不用率	をが大	きい場合、その理由は妥当な	い。(理由を右に記載)				-	-				
	繰越額	頃が大	きい場合、その理由は妥当な	い。(理由を右に記載)				-	-				
	その他	也コスト	削減や効率化に向けた工夫	は行われているか。				-	-				_

	成果実績は	成果目標に見合っ	oたものとなっているか。	Δ	新型コロナウイルス感染症の影響により、有識者による海外での実地調査は実施できなかったものの、当委員会の職員が様々な有識者と意見交換することや、有識者に執筆を依頼した報告書を通じて、デジタル分野の情報収集を効果的に実施した。 また、外部機関が販売している書籍・レポートの購入などを通じて、デジタル分野の情報収集を効果的に実施した。						
事業の		当たって他の手段 低コストで実施でき	な・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果 きているか。	0	公正取引委員会の職員が、外部専門家や外部機関を活用 せず、自ら情報を収集する場合と比較して、効果的に実施す ることができた。						
有 効性	活動実績は	見込みに見合った	ニものであるか。	Δ	新型コロナウイルス感染症の影響により、有識者による海外での実地調査については見込みを下回ったものの、有識者との意見交換については見込みを上回ることができた。また、外部機関による情報収集としては、①クラウド分野に関する情報収集、②デジタル分野における今後の課題の整理・検討に必要な情報収集の合計2件を実施し、見込みを上回ることができた。						
	整備された	施設や成果物は十	-分に活用されているか。	0	公正取引委員会は、作成した報告書を公正取引委員会の ウェブサイト上で公表するとともに、各方面から要望に応じて 講演活動を行っている。						
	関連する事 割分担の具	業がある場合、他 体的な内容を各事	部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役 事業の右に記載)	-							
		事業番号	事業名]						
関連			-								
事業			-								
*			-								
			-								
			-								
点検・お	点検結果	を効率的かつ効果	令和3年度においては、外部専門家へのヒアリングや外部機関が販売している書籍・レポートの活用などを通じて、デジタル分野の情報収集 を効率的かつ効果的に実施することができた。デジタル市場における競争政策の有効かつ適切な推進という政策の必要性・重要性に鑑み、引 き続き、事業を継続することが適当である。								
改善結果	善 │										

外部有識者の所見

点検対象外

	行政事業レビュー推進チームの所見											
現状通り	・引き続き効率的・効果的な予算執行に努めてほしい。 ・実態・効果に合わせた見直しが既に図られているようであり、引き続き見直しも含め取り組んでいただきたい。											
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見のとおり、引き続き本事業を継続することとしたい。											

備考

前年度における点検の結果、「外部専門家を活用したデジタル分野の情報収集」及び「外部機関を活用したデジタル分野の情報収集」として2つに分かれていた事業を統合することとした。

<令和3年度に公表した事業(デジタル市場企画調査室)> ・クラウドサービスに関する意見交換会(令和4年3月30日開催)

https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/kenkyukai/cloud/index.html

関連する過去のレビューシートの事業番号											
平成23年度-			-		-	-					
平成24年度 -			-		_	-					
平成25年度-			1		-	-					
平成26年度 -			-		_	-					
平成27年度 -			-		_	-					
平成28年度 -			-		_	-					
平成29年度-			-		_	-					
平成30年度-			-		-	-					
令和元年度											
令和2年度	取引委 新02 員会	0001									
令和3年度 202		0009	2021 公取 20 績がない新規事業、新規要	0010							
資金の流れ (資金の受け (資金の受け (資金が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)		A.デジ	ヒアリングの実施 調査の依頼 タル分野の専門家 2.2百万円 ヒアリングへの参加 調査報告書執筆	(7.6]		部機関を活用した情報収集 【随意契約(少額)等】 B.民間事業者(9社) 5.4百万円 書籍・レポートの販売など					
(「資金の流れ」 おいてブロックこ	<u> </u>		Α.	金額		B.株式会社紀伊國屋書店	金額				
とに最大の金額 が支出されてい	質 目 質 目 目		使 途	(百万円)	費 目経済実態等調	使途	(百万円)				
者について記載	戊 ┃	-		_	在准夫思寺嗣 査費	書籍・レポートの購入	2.1				
する。費目と使うの双方で実情が	<u></u>	_		_	_	-	-				
分かるように記載)				0	計		2.1				
	費目・使途欄につ	ついてさらに記	載が必要な場合はチェック	クの上【別紙2	2]に記載	チェック					

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	ヒアリングへの参加、調査 報告書執筆	0.8		1	I	_
2	個人B	-	講演、調査報告書執筆	0.5		ı	ı	-
3	個人C	-	ヒアリングへの参加、調査 報告書執筆	0.5		-	ı	_
4	個人D	-	ヒアリングへの参加	0		ı	ı	-
5	個人E	-	ヒアリングへの参加	0		ı	ı	-
6	個人F	-	ヒアリングへの参加	0		ı	ı	-
7	個人G	-	ヒアリングへの参加	0		ı	ı	-
8	個人H	-	ヒアリングへの参加	0		ı	ı	-
9	個人I	-	ヒアリングへの参加	0			ı	_
10	個人J	-	ヒアリングへの参加	0		-	-	-

В								
	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社紀伊國屋 書店	4011101005131	書籍・レポートの購入	2.1	随意契約 (少額)	1	-	-
2	日本郵便株式会社	1010001112577	文書の発送	0.7	随意契約 (その他)	-	-	-
3	レイバー合同会社	8011003011604	アンケート調査画面の開発	0.6	一般競争契約 (最低価格)	7	34.7%	-
4	株式会社グローバル インフォメーション	4020001065144	書籍・レポートの購入	0.5	随意契約 (少額)	1	-	-
5	株式会社帝国データ バンク	7010401018377	企業情報の購入	0.5	随意契約 (少額)	1	-	-
6	株式会社新社会シス テム総合研究所	7010401013254	書籍・レポートの購入	0.3	随意契約 (少額)	1	-	-
	株式会社キタジマ	5010601023501	アンケート調査準備業務の 委託	0.3	随意契約 (少額)	1	-	-
8	株式会社矢野経済 研究所	3011201005528	書籍・レポートの購入	0.2	随意契約 (その他)	-	-	-
9	株式会社三省堂書 店	7010001016830	書籍・レポートの購入	0	随意契約 (少額)	-	-	-
10	-	-	_	-		-	-	-